

| No. | 担当 | 分類 | 2023 No. | 研修名 | 分野 | | | | | 講師の会社名 | 講師 | 日数 | 開催日 | 概要 | 対象 | 定員 |
|-----|----|----|-------------|--|-------|--------|------|----|----|------------------------------|--------|------|------------------|---|--|----|
| | | | | | ヒューマン | マネジメント | 問題解決 | DX | 実務 | | | | | | | |
| 11 | 人材 | 既存 | 11 | 指導者研修 ～ティーチング編～ | ○ | ○ | | | | (一社)中部産業連盟 | 清水弘之氏 | 1日 | 8月6日(火) | 指導者にとっての必須スキルを習得。組織やメンバーとして指導者の資質・特性に応じた「教える手法」を学ぶ。 | 後輩・部下の指導育成を担う若手～中堅社員（基本の再確認・習得を目指す管理監督者も受講可） | 30 |
| 12 | 人材 | 既存 | 12 | 指導者研修 ～コーチング編～ | ○ | ○ | | | | (一社)中部産業連盟 | 清水弘之氏 | 1日 | 9月25日(水) | 指導者にとっての必須スキルを習得。対話を通して、「メンバーが本来持っている能力を引き出す手法」を学ぶ。 | 後輩・部下の指導育成を担う若手～中堅社員（基本の再確認・習得を目指す管理監督者も受講可） | 30 |
| 13 | 人材 | 新規 | | IT業界必須コミュニケーション力向上研修～リーダーシップを求められる方、後輩をもつ方、部下育成に悩む管理職の方にも～ | ○ | | | | | デジタルミックス(株) | 大内香那子氏 | 1日 | 9月4日(水) | 認知言語学を土台としたコミュニケーションスキルを学び、他者を深く理解する方法、人の気持ちを動かすコミュニケーション技法を習得。実はコミュニケーションを取るシーンが多く、顧客のニーズの推察・言語化を求められたり、言い換えたり説明したりと、想像以上に大変な思いをすることが多い IT 業界。だからこそ、そのスキル向上に課題を感じていることでしょう。この研修を通じ、すぐに使える方法を学ぶ。ワークを多く取り入れ、実践を積みながら、スキルを習得。独自性のあるカリキュラムで、心に残り、身体で覚えられる充実の 6 時間。 | 他者とコミュニケーション取り、仕事をするすべての方が対象となり得る。 ・他者との協調が求められる方 ・コミュニケーションスキル向上が課題だと感じている方 ・後輩育成を行う方、部下を持つ管理職の方 | 20 |
| 14 | 人材 | 既存 | 14 | 中堅リーダー社員 管理能力向上研修 | ○ | ○ | ○ | | | (一社)中部産業連盟 | 清水弘之氏 | 2日 | 7月9日(火)・23日(火) | 組織を担う人材に必要な知識・スキルを習得する。組織論・コミュニケーション・リーダーシップ・ファシリテーション・プレゼンテーション・問題解決・論理思考・デザイン思考など。 | 後輩・部下を指導する立場となる管理職前の方々（主任・係長層） | 30 |
| 15 | 人材 | 既存 | 15 | 中堅リーダー社員 管理能力向上研修 | ○ | ○ | ○ | | | (一社)中部産業連盟 | 清水弘之氏 | 2日 | 9月10日(火)～11日(水) | 組織を担う人材に必要な知識・スキルを習得する。組織論・コミュニケーション・リーダーシップ・ファシリテーション・プレゼンテーション・問題解決・論理思考・デザイン思考など。 | 後輩・部下を指導する立場となる管理職前の方々（主任・係長層） | 30 |
| 16 | 人材 | 新規 | | IT技術者のためのコミュニケーション～「論理と直感」で「伝わる」意思伝達の方法～ | ○ | | | | | セイ・コンサルティング・グループ(株) | 田淵真理子氏 | 2日 | 7月17日(水)～18日(木) | 「論理的思考」「口頭表現」スキル等を理論と実践を通じて習得。各種チャレンジやプレゼンコンテスト等により他の参加者と交流できる。講師、他者からのフィードバックにより自己のコミュニケーションの特性を把握でき、強みを生かし、弱みを意味のないものにする方策を自ら見いだしていける。IT業界の事例を扱うものの、解説があるため新人から若手社員にも勧めたい内容である。 | ・業務上意思疎通の力を必要としている方 | 16 |
| 17 | 人材 | 新規 | | 開発現場でのミスコミュニケーションがプロジェクトを蝕む～ビジネス読解力で組織力を高めるポイントとは～ | ○ | | ○ | | | ALL DIFFERENT（オールディファレント）(株) | 西田聖子氏 | 0.5日 | 12月13日(金) | 日々の業務において発生しがちなミスコミュニケーション。当社が2022年に全国の社会人を対象に行った調査によると、自分の職場で「同じ話を聞いたり資料を見たりした」際に「理解や認識のズレ」が発生している、と回答した社会人の割合は全体の88.1%。 例えば、クライアントからの要望ヒアリング、要件定義書などのアウトプット、設計・プログラミングなど各工程の進捗報告・確認、上司やPMとの認識のすり合わせ……。社内外問わず、開発現場では日々さまざまなコミュニケーションが発生しているがそこでもし「理解や認識のズレ」が頻発しているとしたら、どうなるか。クライアントのニーズを汲み取れず手戻りが生じたり、開発スケジュールが遅延したりとプロジェクトの進行が妨げられ、業務の生産性が落ちてしまうことは間違いない。 本セミナーでは、開発現場でのプロジェクトの進行を妨げる要因の一つ「ミスコミュニケーション」を解決し、開発現場の、さらには会社全体の組織力を向上させるための取り組みについてご紹介する。 | プロジェクトマネジメントに携わる方 人事ご担当者、経営者様 | 25 |
| 18 | 人材 | 既存 | 16 | モチベーションを上げる伝え方トレーニング講座～スタッフのやる気を引き出す言葉の力～ | ○ | ○ | | | | (株)アイガ | 鳥居高志氏 | 1日 | 11月28日(木) | 組織の成功を語るうえで、スタッフとのビジョンの共有は欠かせない。どのように伝えれば自分の想いを共有できるのか、スタッフのやる気を引き出すためにはどのようなスピーチが有効なのか、様々なノウハウをトレーニングを通じて習得。 | スタッフのやる気を高めるような言葉がけが必要とされる方 | 20 |
| 21 | 人材 | 既存 | 22 | 自律型人材になる・育てる研修～自身のビジネスマインドを変化させたい方・部下の自律性を引き出したいリーダー～ | | ○ | | | | デジタルミックス(株) | 大内香那子氏 | 1日 | 7月29日(月) | 今後ますます世の中から求められる「自律型人材」を目指す。自律型人材とは、自らの価値観に基づいて考え、判断・行動して成果を出せる人材のこと。組織目標を適切に提示すれば、経営理念やビジョンを見据えて 役割を遂行してくれるため、企業にとって非常に有意義な存在 となる。自律型人材を目指すには、自己理解・所属組織 目標 の 理解・セルフリーダーシップが必要になるが、これらに注力する時間を、どの企業も 業務時間内 で用意することは難しく、実際は各自の努力や成長に期待するにとどまっている。だからこそ 研修の場で、しっかりと学び、受講生同士の好影響を受けながら自己変革につなげる。また部下の自律性に悩むリーダーにとっても、自己変革 は効果的。自身の在り方を再認識 したうえで、部下育成を実践する。受講者のうちの「自律型人材にしなければ」と思っている方と対話することで、部下側の想いを知るチャンスも得られる。 | 以下どちらの方も、同時に受講いただける。 ・もっと自律性を発揮することを求められている方（主体性や責任感が課題となっている方も含む） ・後輩や部下に自律性が不足していると感じ、育成に悩む方 | 20 |
| 22 | 人材 | 既存 | 23 | セルフモチベーション向上研修～人生100年時代における職業人生の活き方～ | | ○ | | | | (株)インテックス | 水藤麻美氏 | 1日 | 10月3日(木) | 業務は複雑さを増し、従業員個々には“専門性の向上と仕事の効率化”が求められている。そうした状況下で、いつも外部環境が自身をタイミングよくモチベートしてくれるとは限らない。本研修では、自らの経験から【モチベーションが高低するポイント＝特性】を確認したうえで、セルフモチベーション向上の方法を確認する。人生100年時代、長期化する職業人生を意欲的に取り組む思考法の獲得を目的としている。 | ・若手～中堅社員で自身のセルフモチベーション向上に興味がある方など | 15 |
| 23 | 人材 | 新規 | | チームビルディング研修～チームマネジメント力を鍛える5つ教えて、4つ褒め、1つ叱る～ | | ○ | | | | セイ・コンサルティング・グループ(株) | 田淵真理子氏 | 2日 | 10月29日(火)～30日(水) | チームビルディングのスキル（褒める・叱るからモチベーション・マネジメント、アンガーマネジメント、リーダー・フォローシップ、報・連・相まで）を理論と実体験、ゲームをもとに学ぶ。研修参加者が一つのチームとなり、4つのアクティビティにより、楽しく学べる。自分自身の振り返り、他者や講師からのフィードバックにより、自分の現在位置がわかり、さらなる成長のためのテーマがわかる。 | ・IT業界にお勤めで、チーム運営能力を必要としている方、今後必要とされる方 | 16 |

| No. | 担当 | 分類 | 2023 No. | 研修名 | 分野 | | | | | 講師の会社名 | 講師 | 日数 | 開催日 | 概要 | 対象 | 定員 |
|-----|----|----|-------------|--|-------|--------|------|----|----|---------------------|--------|------|---------------|--|---|------|
| | | | | | ヒューマン | マネジメント | 問題解決 | DX | 実務 | | | | | | | |
| 24 | 人材 | 新規 | | システム開発におけるレビュー技法 ～効率的に重大欠陥を指摘する～ | | ○ | ○ | | | 宿澤経営情報事務所 | 宿澤直正氏 | 1日 | 11月29日 (金) | プログラムの構造設計・開発工程において、プロジェクトチームとして効率的に機能するためのレビュー技法を学習。 レビューはテストと並んでソフトウェア品質を確保する重要な役割をもっている。しかし、プロジェクトではレビューを行う際に「知識不足」「様々な誤解」「視点のズレ」などから、レビューの効果が十分に出ていない場面を目にする。 様々なレビュー技法の特徴を学び、その後もっともプロセスが明確なインスペクションの流れを知ること で自社に合わせたレビュープロセスを考えていただく。 | ・レビューを主催する方、もしくはレビューに参加する方 ・レビューを効率よく進めたいと考えているリーダーの方 ・レビューで重大な欠陥が見つからないと悩んでいる方 | 20 |
| 25 | 人材 | 新規 | | システム開発における見積もり手法 ～プロジェクトの不確定要素を排除する～ | | ○ | ○ | | | 宿澤経営情報事務所 | 宿澤直正氏 | 1日 | 5月30日 (木) | ソフトウェア見積りとは、プロジェクトにおいて決められた機能を開発するために必要なコストやスケジュールを見積もることといえる。しかし、プロジェクトには見積りを狂わせてしまうさまざまな「不確定要素」がひそんでいる。そして「不確定要素」を減らすカギは人が握っている。 この研修では、ソフトウェア見積りを狂わす「不確定要素」を減らすために、どのようなリスクを想定すればよいか、またソフトウェア見積りの精度を上げていくための見積り手法の紹介、プロジェクトや組織ではどのような取り組みを行えばよいかを一緒に考える。 | ・プロジェクトにおける規模、工数、コスト、リスクなどを見積る必要のある方 ・メンバーの工数を見積り、その管理をおこなう必要のある方 ・見積りという共通の物差しにより、顧客と良好な関係でプロジェクトを進めていきたい方 | 20 |
| 26 | 総務 | 新規 | | リーダーのためのアンガーマネジメント ～ハラスメントにならない叱り方や怒りのコントロールを学ぶ～ | | ○ | | | | (一社)中部産業連盟 | 寺田陽子氏 | 1日 | 11月21日 (木) | ビジネスの視点から、怒りの感情をうまくコントロールし、ハラスメントの防止、仕事の生産性の向上、職場の風土改革、ストレスの軽減等に繋げることによって、日歩の仕事の効率を高めることができるアンガーマネジメントのスキルを学ぶ | ・経営トップ層 ・リーダー・管理者の方 | 30 |
| 31 | 人材 | 新規 | | アイデアの発想展開法 ～柔軟な発想を導き出し、そこから結論を出すために～ | | | | | ○ | 宿澤経営情報事務所 | 宿澤直正氏 | 1日 | 5月29日 (水) | ビジネスでは企画、提案など様々なアイデアを出す場面があるが、ただ考えているだけでは容易にまよらない。本講座ではアイデアを発想する様々なツール（考える道具や生成AIサービス）を紹介し、実際に体験するほか、アイデアをまとめる方法についても学ぶ。これまでよりも簡単に自分の考えをまとめ、文章化できることを目標とする。 | ・アイデアを発想するツール、整理してまとめるツールの使い方を知りたい方 ・簡易企画書として表現するまとめ方を知りたい方 | 20 |
| 41 | 人材 | 既存 | 41 | DX時代のICTトレンド技術 ～ビジネスパーソン必須知識～ | | | | | ○ | (株)富士通ラーニングメディア | 佐藤祥史氏 | 1日 | 11月15日 (金) | デジタルビジネス時代に新規ビジネス創出や業務改革を推進するに当たり、AIやIoTなどのICTトレンド技術を活用する動きが広がっている。今や情報システム部門だけでなく現場部門においても、ICTトレンド技術の概要を網羅的に理解することが求められている。本コースでは、デジタルビジネス時代に活動する全てのビジネスパーソンに必要となるICTトレンド技術について、活用事例をベースに、各技術の位置づけ・つながりを学習する。 | 全てのビジネスパーソン。特に、ICTのユーザー部門（利用者としてICTを使用している方）、デジタル技術を活用して新規ビジネスの創出や社内業務の効率化の検討を行う方、ICTトレンド技術の入門知識を得たい方。 | 20 |
| 42 | 人材 | 既存 | 42 | スクラム開発入門 ～あのアジャイルの要所が1日で学べる～ | | | | | ○ | セイ・コンサルティング・グループ(株) | 山崎有生氏 | 1日 | 1月28日 (火) | 人間・迅速さ・顧客・適応性に価値を置くソフトウェア開発手法であるアジャイルが注目されている。しかし、ウォーターフォール開発との違いから戸惑うエンジニアの方も多い。アジャイル開発の考え方にとどまらず、実際に使えるツールの紹介により、現場で使える手法を提供。 | ・アジャイル開発がどんなものか知りたい方 ・ウォーターフォール開発との使い分けについて知りたい方 ・IT企業のシステム開発プロジェクトに関わったことのある方で今後アジャイル開発にアサインされる予定のある方 | 16 |
| 43 | 人材 | 既存 | 43 | ノーコードツールを利用したAIモデルの生成とPythonによるアプリの実装 | | | | | ○ | (株)インテックス | 中西夏基氏 | 1日 | 10月21日 (月) | ノーコードツールを利用し、画像認識のためのAIモデルを作成する。また、作成した学習済みAIモデルをエクスポートし、それを用いた画像認識アプリケーションをPythonにて実装する。演習を通じて、ノーコードツールの使い方や、画像認識アプリケーションの作成方法を習得する。 ※前提条件・・・Pythonを用いた簡易なCUIアプリケーションの開発ができる方 | ・ノーコードツールに興味のある方 ・AIモデルを用いたアプリケーション開発に興味のある方 | 15 |
| 44 | 人材 | 新規 | | PythonによるWebアプリケーション開発 ～簡易フレームワークを用いたWebアプリケーション開発～ | | | | | ○ | (株)インテックス | 中西夏基氏 | 1日 | 11月26日 (火) | DXの実現に必要なとされる業務効率化・自動化のためのWebアプリケーションを、高速に自社開発する手法を学ぶ。Pythonを用いたWebアプリケーションの開発手法を習得する。また、簡易フレームワークを用いたWebアプリケーション開発について学ぶ。 ※前提条件・・・HTML・CSSの基礎知識がある方、Pythonを用いた簡易なCUIアプリケーションの開発ができる方 | ・DXの実現や業務の自動化に興味のある方 ・Pythonを用いたWebアプリケーション開発に興味のある方 | 15 |
| 45 | 企画 | 既存 | 46 | DXセミナー(原則、Web開催) | | | | | ○ | (未定) | (未定) | (未定) | | (未定) | (未定) | (未定) |
| 101 | 採用 | 既存 | 101 | 採用力強化実践研修 ～学生を惹きつける採用手法～ | | | | | ○ | デジタルミックス(株) | 大内香那子氏 | 1日 | 12月6日 (金) | 新卒採用成功のポイントは「学生を知る」「自社を知る」「学生が選ぶ理由をつくる」の3点。「学生を知る」では、昨今の学生が実際にどう就職活動をしているか、どんな企業で働きたいと思っているかを理解する。「自社を知る」では、具体的な採用ターゲットを深く掘り下げると共に、自社のPRポイントを探していく。「学生が選ぶ理由をつくる」では、学生を惹きつける具体的なアプローチ方法を学ぶ。多彩な採用成功事例の紹介、受講者同士の意見交換、グループワークを通じて、自社採用力を強化できる。 | ・人事・総務関連の採用担当の方 ・採用戦略にお悩みの経営層の方 | 20 |
| 102 | 承継 | 既存 | 102 | 承継セミナー | | | | | ○ | (未定) | (未定) | (未定) | | (未定) | (未定) | (未定) |
| 103 | 企画 | 既存 | 103 | 行政施策動向説明会 | | | | | ○ | (未定) | (未定) | (未定) | | (未定) | (未定) | (未定) |
| 200 | - | - | - | 【AiA推奨】JISA ICTカレッジ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | - | - | | 豊富なDX人材育成コース AiA会員は、JISA会員価格(一般の2割引)で受講可(研修申込書の紹介企業名に「AiA」と記入) | - | - |